

道路と下水道管路の予防保全型維持管理の高質化・効率化 ■インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討
 □官民連携グリーンチャレンジモデル

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

自治体の持つ「ヒト」技術職員の不足、「モノ」老朽化の進行、「カネ」財源の不足といった課題を抱えている。
 道路や下水道等複数の分野で、様々な仕様で膨大な点検・診断のデータが蓄積されているが、分野横断し有効に活用されていないことが多い。
 複数分野の点検・診断データを維持管理情報として見える化し、効率的・効果的な維持管理を目指す。

②提案の概要

ターゲット:道路と下水道管路

事業モデル:①道路路面下空洞調査結果、②道路路面性状の調査結果、③下水道管路の点検結果を地図上で重ね合わせ一元可視化し、相互の関連性を検証し、道路と下水道管路の維持管理に活用する(下図参照)。

道路路面上から比較的簡易に収集できる①路面下空洞調査や②道路路面性状の調査結果をもとに、下水道管路の劣化箇所を推定することで、下水道管路の点検・調査のために行う交通規制が不要となり、コスト、時間、労力の削減効果が見込める。

逆に、③下水道管路の調査結果で損傷している場所は、今後の地中空洞化や路面性状悪化の原因となりうる箇所として、道路の点検巡視の頻度向上や対策工事の実施により、道路陥没事故を抑制することができる。



③スキーム (技術) の導入により得られる効果

安全で安心な都市基盤の維持
 道路部門と下水道部門が連携し維持管理の効率化
 コストの低減の実現

その他

実績: 柏の葉スマートシティで実施中